

# Sealex

## 富士川シーレックス

ホルムアルデヒド  
放散等級区分表示  
F☆☆☆☆

JIS A 6203  
規格適合品

公共建築協会  
評価名簿登録品

日本建築仕上学会  
M-101 規格適合品



### 特長

- ① 混入・塗布両用……混合用、塗布用いずれにも使用できる
- ② 高性能・高耐久性……下地への付着力がよく、耐久性に優れており、強度・防水性・耐薬品性等の物性が向上する
- ③ 作業性良好……コテへの粘り付きが軽減し、コテ押さえなどの作業性が良い
- ④ 簡単・安全……エマルジョンタイプの為、取り扱いが簡単で悪臭・毒性がない

### 用途

コンクリート、ALC、ブロック等の  
モルタル付着増強および諸物性の向上

### 性状

- 外 観 乳白色液体
- 主 成 分 エチレン酢酸ビニル共重合体
- 濃 度 46±1(%)
- 粘 度 1,200~2,000(mPa·s)
- p H 4~6
- 最低 造 膜 温 度 0(℃)
- 放 置 安 全 性 良好
- 荷 姿 18kg 丸缶入り

### 施工方法

**混入**……付着性・曲げ強度・耐久性などの諸物性を向上させ、作業性のよいモルタルに改善します。

**塗布**……シーレックス 3 倍 ~ 5 倍液をモルタル下塗り時に塗布することにより、吸水調整をし下地との接着力を高めます。

既調合材 モルタル	 +  +  フジライト 25kg 2.5kg 規定量	施工箇所	希 釈 割 合	標準塗布量	施工面積
樹脂混入 砂セメント モルタル	 +  +  +  セメント 25kg 砂 60kg~65kg 2.5kg~4kg 適量	RC・モルタル下地	 1 : 2 (3 倍液) +  18kg 36ℓ	200g~ 150g/m <sup>2</sup> (2 回塗り)	約 270~ 360m <sup>2</sup> / 缶
ノロ セメント	 +  +  +  セメント 25kg 4kg 適量 左官用 メチルセルローズ 45g	ALC 下地	 1 : 3 (4 倍液) +  18kg 54ℓ	300g/m <sup>2</sup> (2 回塗り)	約 240m <sup>2</sup> / 缶

# 富士川シーレックス

## 施工上のご注意

### ◎ 下地処理

レイタンスを完全に除去し水洗いをしてください。  
油や汚れは完全に除去し、水洗いまたは高圧洗浄を行ってください。

### ◎ 施工時

モルタル混入の場合はセメントと砂を空合わせし、所要量のシーレックス希釈液を徐々に混入して、次に加水して適度な状態まで調節してください。  
モルタルの施工は、擦りつけるように圧力(コテ圧)をかけながら塗ってください。また施工状況により吸い込みが激しく塗

りにくい場合は、吸水調整を行ってください。  
シーレックス混入モルタルは硬化が早まりますので、ご注意ください。

夏期や通気の良い場所に、混入モルタルを放置する場合は、適当なカバーをかけてください。

### ◎ 施工直後

使用した道具は、作業終了時に直ぐに水洗いをしてください。  
通風や直射日光を避け、急激な乾燥にならないよう配慮願います。また降雨・降雪のおそれがある場合は、シート養生等を必ず実施してください。

## 性能

JIS A6203-2000(セメントポリマーディスパージョン混和用ポリマーディスパージョンおよび再乳化形粉末樹脂)に準拠

モルタル混和物性評価試験結果

試験項目	富士川シーレックス	規格
W / C	0.415	---
フロー値(mm)	172	170±5
外観	異常なし	---
不揮発分(%)	46.4	35.0以上
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	9.8	8.0以上
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	43.7	24.0以上
接着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	2.2	1.0以上
吸水量(%)	3.2	10.0以下
透水量(g)	5	15以下
長さ変化率(%)	0.066	0~0.150

一般社団法人公共建築協会 吸水調整材の評価基準による			
試験項目		試験結果	規格
ポリマーディスパージョンの試験	外観	粗粒子、異物、凝固物なし	粗粒子、異物、凝固物等がないこと
	全固形分(%)	45.7	46±1.0以内
吸水試験	吸水性(g)	0.2	30分で1.0以下
接着強度試験(N/mm <sup>2</sup> )	標準状態	3.27	著しいひび割れおよび剥離がなく、接着強度が1.0以上、界面破断が50以下であること
	熱冷繰り返し抵抗性	2.41	
	凍結融解抵抗性	2.56	
	熱アルカリ溶液抵抗性	2.26	
	外観および界面破断状況(%)	いずれも著しいひび割れおよび剥離がなく、界面破断が50以下	

[社内試験]

## 注意事項

### ◎ 輸送上の注意

積み込み・降ろしの際は、内容物の漏れに注意し、転倒・落下・損傷がないように荷崩れ防止の措置を必ず採ってください。

### ◎ 漏出時の注意

万一、漏出した場合は土壌などで流路を塞ぎ止め、バキューム等で汲み上げるか、少量の場合でもウエスやおが屑などで吸収し、産業廃棄物として処理してください。

### ◎ 使用上の注意

必ず保護具(保護メガネ・マスク・保護手袋等)を着用して作業してください。  
換気の良い場所で作業してください。  
使用後の器具類は早めに水洗いを行ってください。  
取り扱い後は、うがいおよび手洗いを十分に行ってください。

### ◎ 施工上の注意

施工中・後および硬化前に降雨・降雪の可能性がある場合は、施工の延期をご検討ください。  
また気温が5℃以下の場合は、施工を延期するか適切な保温・採暖措置を講じて養生してください。

### ◎ 緊急措置

目に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の診察を受けてください。  
誤飲した場合は、直ちに多量の水や白湯などを飲ませ吐かせた後、医師の診察を受けてください。  
皮膚に付着した場合は、付着した衣服や靴を脱ぎ、付着した部分に水をかけながら洗浄してください。

### ◎ 保管上の注意

直射日光や凍結を避けるために、必ず室内(5℃~40℃)で保管してください。  
開封後の使用残は、密封した状態で保管してください。  
製造日から6ヶ月以内を目安に使い切ってください。

### ◎ 廃棄上の注意

内容物および使用済み空き容器を廃棄する場合は、各都道府県の条例に基づき処理をするか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

### ◎ 環境への配慮をお願いします

下水道・河川・海はもとより公共・一般水域へ流入すると、広範囲に渡って思わぬ被害の拡大も起こりますので、絶対に廃棄したり誤って流入させないでください。  
万が一流入した場合は、直ちに地方自治体の担当者に連絡してください。  
また地中への投棄も絶対に行わないでください。



— モノづくりから仕事づくりへ —

富士川建材工業株式会社

— 東京・横浜・名古屋・大阪・広島・福岡 —

TEL 045-772-1811

FAX 045-772-0467

<https://fujikawakenzai.co.jp>

[mail@fujikawakenzai.co.jp](mailto:mail@fujikawakenzai.co.jp)

